

ムーンショット型研究開発制度の基本的考え方について

- 未来社会を展望し、困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象として、人々を魅了する野心的な目標（以下「ムーンショット目標」という。）及び構想を掲げる
- 最先端研究をリードするトップ研究者等の指揮の下、世界中から研究者の英知を結集し、目標の実現を目指すこと（国際化）
- 我が国の基礎研究力を最大限に引き出す挑戦的研究開発を積極的に推進し、失敗も許容しながら革新的な研究成果を発掘・育成に導くこと
- 進化する世界の研究開発動向を常に意識しながら、関係する研究開発全体を俯瞰して体制や内容を柔軟に見直すことができる形に刷新するとともに、最先端の研究支援システムを構築すること
- 研究成果を円滑に社会実装する観点から、多様な人々との対話の場を設けるとともに、倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）について人文社会科学を含む様々な分野の研究者が参画できるような体制を構築すること
- 将来の事業化を見据え、オープン・クローズ戦略の徹底を図ること

平成30年12月20日
一部改定 令和2年2月27日
総合科学技術・イノベーション会議
健康・医療戦略推進本部

スケジュール

（10月～）

- PD報告（木曜会合・公開）
—10/5 目標5、11/16目標4
—以降、順次報告

（1～2月）

- PD報告を踏まえて木曜会合において制度全体について議論

（R6年度）

- CSTI5年目評価の実施（木曜会合・公開）／PDによるヒアリング（P）